

No.	所属	事業シーズの名称
	氏名(職名)	概略
1	工学研究院 機械工学部門	携帯型カセットボンベ燃料電池用プレート型改質器 携帯型燃料電池システム用の触媒カートリッジを開発！ 紙形状触媒技術を適用してカセットボンベ燃料から水素を製造する触媒カートリッジを開発し、携帯型燃料電池の実現に貢献する。
	白鳥 祐介(准教授)	
2	農学研究院 環境農学部門	海洋微生物の餌でつくる“真球微粒子”の化粧品展開 海で生分解できるマイクロプラスチック真球微粒子を開発！ 難分解性マイクロプラスチックの海洋汚染問題の解決に向け、海洋微生物の餌である木質から、オールセルロース真球微粒子を開発する。
	北岡 卓也(教授)	
3	農学研究院 資源生物学部門	細胞培養に向けた新規代替血清の開発 FBS や化学合成試薬を用いない代替血清を開発！ 既存血清 (FBS 等) では難培養の細胞に向け、低価格、ロット間差なし、病原体混入リスクなしの血清を開発する。
	藤田 龍介(准教授)	
4	総合理工学研究院 エネルギー科学部門	小型人工衛星において精密制御可能なワイドスロットリングレゾナンスエンジンの開発 小型衛星に搭載する広範囲な推力可変可能なイオンエンジンを開発！ 従来では、不可能であった推力可変範囲を達成するイオンエンジンの開発により宇宙ビッグデータビジネスをサポートする。
	山本 直嗣(教授)	
5	工学研究院 化学工学部門	電池の性能評価シミュレーションソフトの開発 短時間かつ現実的なスケールでの電池の性能評価を可能とする！ 独自のシミュレーション技術を用いて、電極構造の高度設計を実現し、勘と経験の構造設計から脱却することを目指す。
	井上 元(准教授)	
6	生体防御医学研究所 構造生物学分野	生体高分子の立体構造解析のための革新的試料調製法の産業利用 構造解析困難な膜タンパク質の簡便な解析方法を開発！ 従来では、労力や困難さの面により構造解析が躊躇されていた膜タンパク質を簡便に解析し、創薬の効率化を促進することを目指す。
	嶋田 睦(准教授)	
7	プラズマナノ界面センター	プラズマを用いた高窒素有機肥料のその場生産法の開発 環境に優しい農業向けプラズマ窒素固定技術を開発する！ 窒素と水と電気のみを使った高窒素濃度有機肥料を製造・販売することで、農産物を取巻く環境問題の解決に貢献する。
	Attri Pankaj(特任准教授)	

以上